

～叡山電車鞍馬線開通90周年～

展望列車「きらら」が3月21日（木・祝）より

期間限定で「青もみじ」をイメージしたカラーで走ります

叡山電鉄株式会社（本社：京都市左京区、社長：塩山等）が運行する鞍馬線は、2018年12月1日に開通90周年を迎え、本年12月までの約1年間「鞍馬線開通90周年事業」を行っております。

今回、その一環として、現在「メープルレッド」と「メープルオレンジ」の2種類の塗装で運行している900系展望列車「きらら」のうち「メープルレッド」1編成を、新緑の爽やかなもみじをイメージした「メープルグリーン」塗装に変更し、2019年3月21日（木・祝）より「青もみじきらら」として運行します。

詳細は別紙のとおりです。



【「青もみじきらら」のイメージ】

以上



【別紙】

・ 900系展望列車「青もみじきらら」の運行

900系車両展望列車「きらら」2編成のうち「メープルレッド」塗装の1編成を、近年人気が高まっている新緑の爽やかなもみじをイメージした「メープルグリーン」塗装に変更し、「青もみじきらら」として運行します。

運行期間：2019年3月21日（木・祝）～2020年12月上旬（予定）

車両番号：901-902号車

※展望列車「きらら」の運行時刻はホームページでご確認ください。なお、車両点検やその他の理由により運休や運行期間終了日を変更することがありますのであらかじめご了承ください。

なお、運行開始当日は、出町柳駅9時45分発の鞍馬駅ゆきから運行します。それに先立ち、次の通り発車式を行います。

開催日時 2019年3月21日（木・祝） 9時30分～9時45分頃

開催場所 出町柳駅改札内

内 容 沿線の鞍馬小学校の児童から運転士へ花束贈呈
9時45分発「きらら」へ駅長による出発合図

【参考】

1. 900系展望列車「きらら」について

1997年10月に運行を開始した車両で、沿線の移り変わる景色を満喫しながら、ちょっとした旅気分を楽しんでいただけるように大きな窓ガラスを採用し、一部の座席は窓側を向けて配置しているのが特徴です。現在、2編成運行していますが、どちらも「もみじ」をイメージした塗装で、901-902号車は「メープルレッド」、903-904号車は「メープルオレンジ」となっています。

座席の予約や特別な料金は不要で、他の車両と同様に普通運賃のみでご乗車いただけます。



903-904号車（左）と901-902号車（右）



新緑の「もみじのトンネル」を走る展望列車「きらら」



2. 鞍馬線開通90周年事業について

鞍馬線は、今から90年前の1928年12月1日に当時の鞍馬電気鉄道によって山端（やまばな）駅（現：宝ヶ池駅）～市原駅間が開通しました。その翌年、1929年10月20日に市原駅～仮設の鞍馬駅まで開通、同年12月20日に現在の場所の鞍馬駅まで開通し、今日の姿となりました。

それから90年を迎えることを記念して、2018年12月1日から2019年12月までの約1年間は、「鞍馬線開通90周年事業」として、ご利用のお客さまや沿線のみなさまと共に90年の歴史を感じてお楽しみいただけるよう、さまざまなイベントや取り組みを実施していきます。



【鞍馬線開通90周年ロゴマーク】

